

# 2021年5月期通期決算 VISION2030および中期経営計画

## 説明資料

2021年7月13日

 三協立山株式会社

## 業績結果

|                     | 2021/5期<br>実績 | 2020/5期<br>実績 | 前期比  |         | 2021/5期<br>計画※1 | 計画比 |        |
|---------------------|---------------|---------------|------|---------|-----------------|-----|--------|
|                     |               |               | 増減   | %       |                 | 増減  | %      |
| 売上高                 | <b>3,011</b>  | 3,136         | ▲125 | ▲4.0%   | 2,960           | +51 | +1.8%  |
| 営業利益                | <b>45</b>     | 20            | +25  | +126.7% | 25              | +20 | +82.7% |
| 営業利益率               | <b>1.5%</b>   | 0.6%          |      | +0.9p   | 0.8%            |     | +0.7p  |
| 経常利益                | <b>52</b>     | 16            | +36  | +225.8% | 27              | +25 | +94.5% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | <b>16</b>     | ▲15           | +32  | -       | 1               | +15 | -      |

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示  
※1 2021年4月6日公表の通期連結業績予想

## 配当

1株当たり 期末 15円（予定）

## ✓ 前期比減収増益

### ✓ 売上高は 約125億円減収（▲4.0%）

新型コロナウイルス感染症拡大により国内外の経済が停滞する中、マテリアル事業、商業施設事業、国際事業では、第3四半期以降の需要回復などにより増収。一方で、建材事業では新設住宅着工戸数、非木造建築物着工床面積減少などの影響を受け、全体で減収。

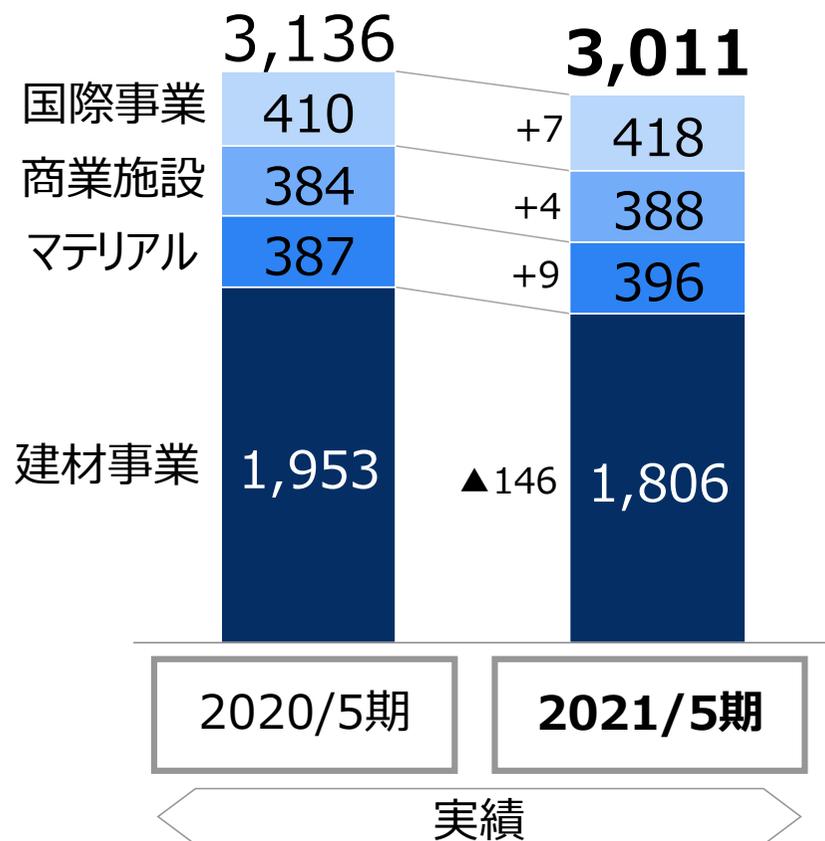
### ✓ 営業利益は 約25億円増益（+126.7%）

建材事業は売上減少により減益となったものの、アルミ地金価格が低い水準で推移したことや、全事業において生産部門でのコスト削減、収益改善の推進などを行い増益。

売上高

**3,011 億円**

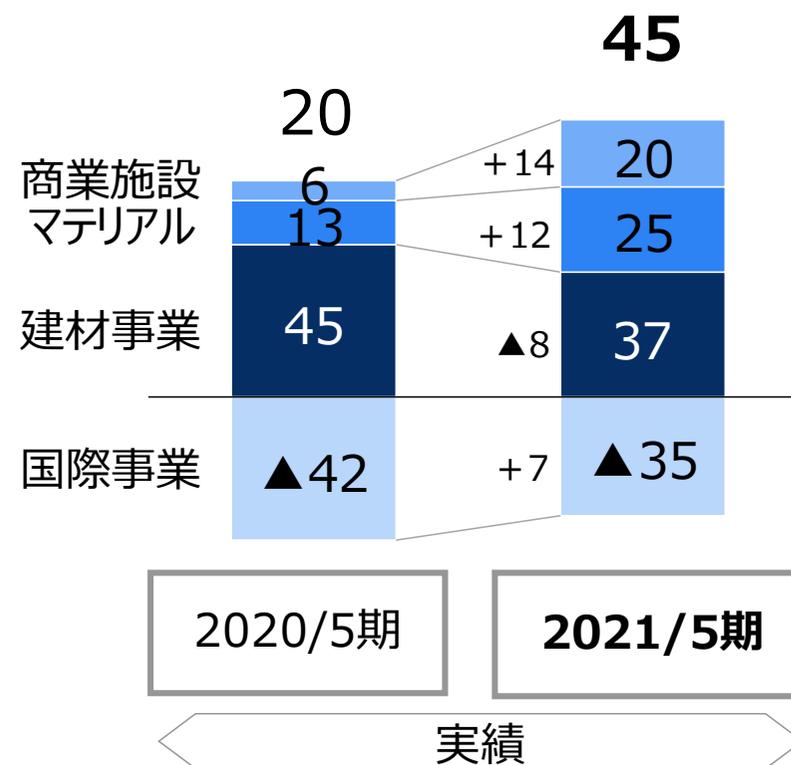
前期比 ▲125 億円  
(▲4.0%)



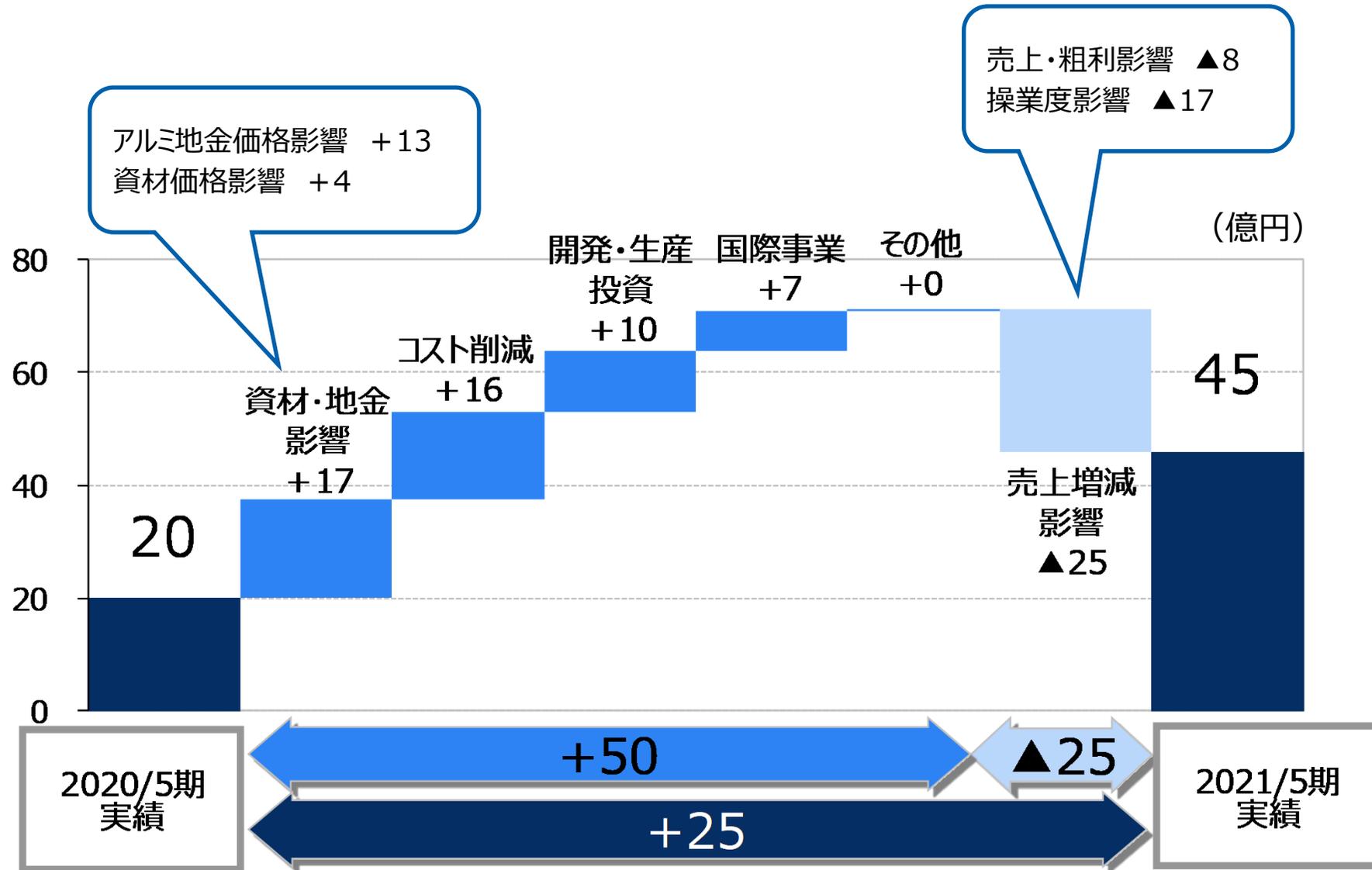
営業利益

**45 億円**

前期比 +25 億円  
(+126.7%)



※金額は億円未満切り捨て表示

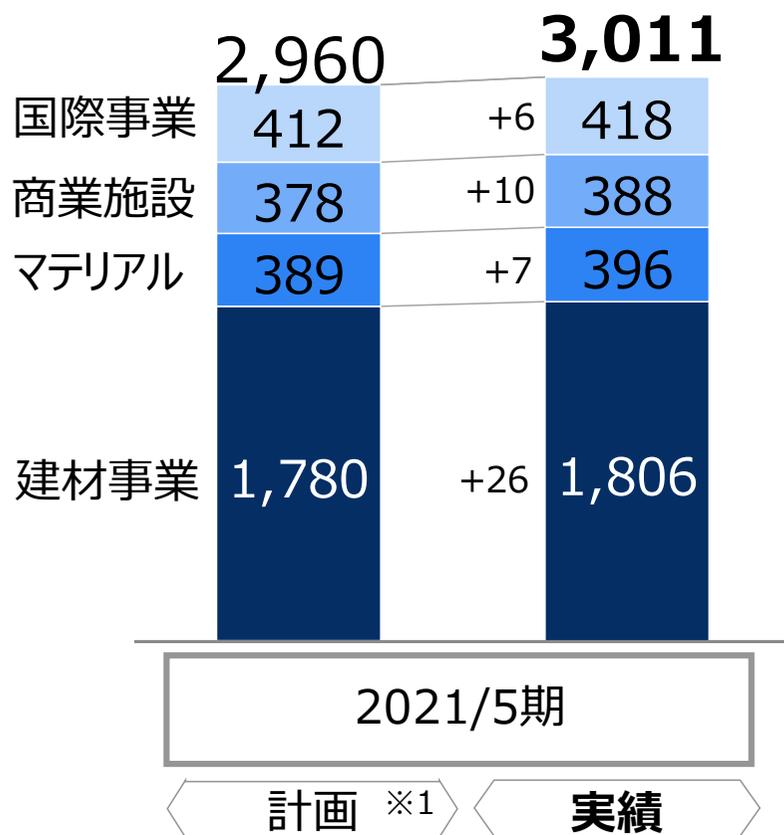


※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約  
 ※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

3,011 億円

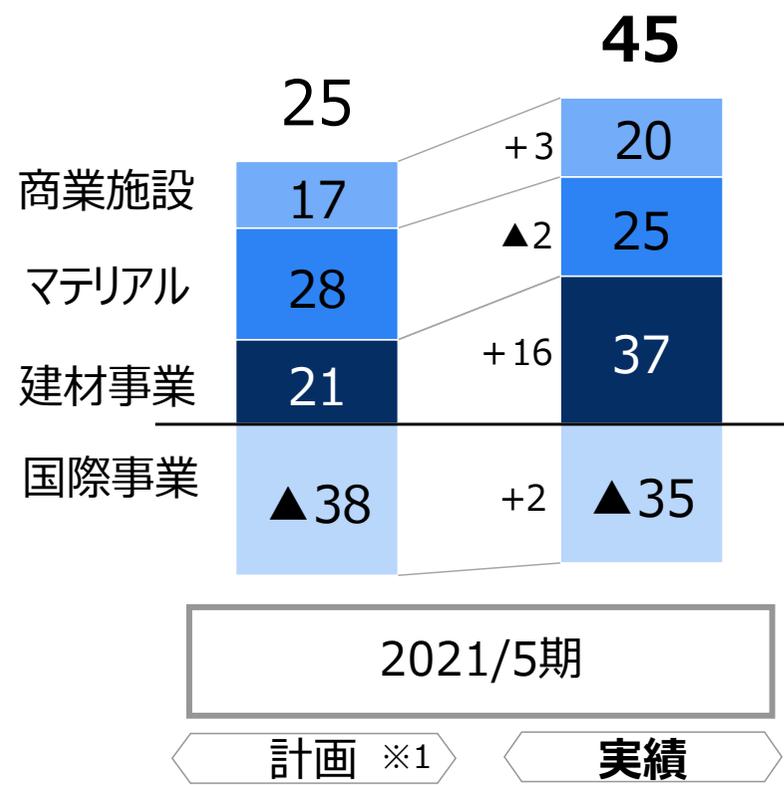
計画比 +51 億円 (+1.8%)



営業利益

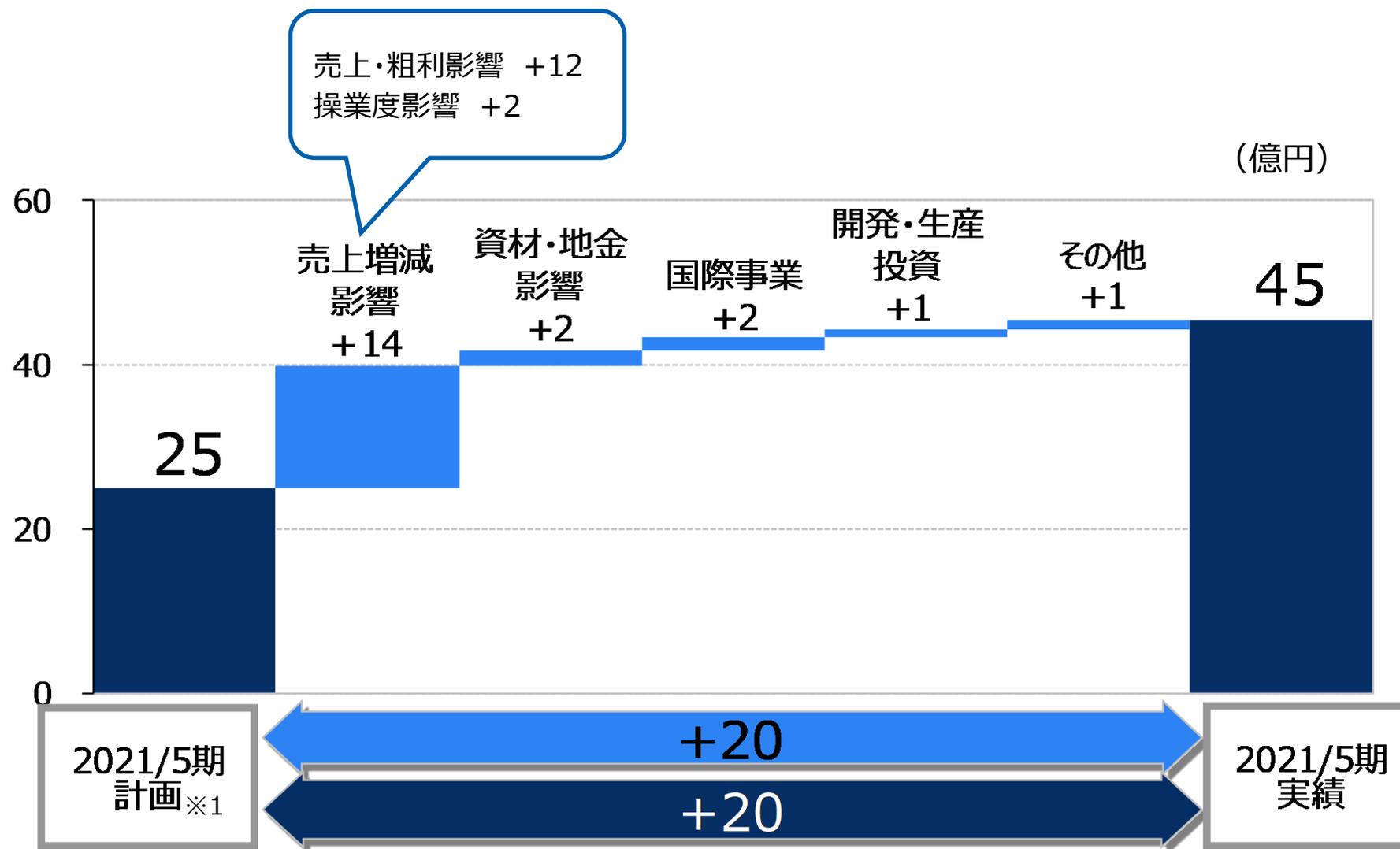
45 億円

計画比 +20 億円 (+82.7%)



※金額は億円未満切り捨て表示

※1 2021年4月6日公表の通期連結業績予想



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約

※金額は億円未満切り捨て表示

※1 2021年4月6日公表の通期連結業績予想

# 業績予想

**第2四半期  
業績予想**

(億円)

|                      | 2022/5期<br>2Q業績予想 | 2021/5期<br>2Q実績 | 増減額  |       |
|----------------------|-------------------|-----------------|------|-------|
|                      |                   |                 | 増減額  | %     |
| 売上高                  | <b>1,610</b>      | 1,450           | +159 | -     |
| 営業利益                 | <b>24</b>         | 19              | +4   | -     |
| 営業利益率                | <b>1.5%</b>       | 1.4%            |      | +0.1p |
| 経常利益                 | <b>20</b>         | 23              | ▲3   | -     |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | <b>5</b>          | 7               | ▲2   | -     |

**通期  
業績予想**

(億円)

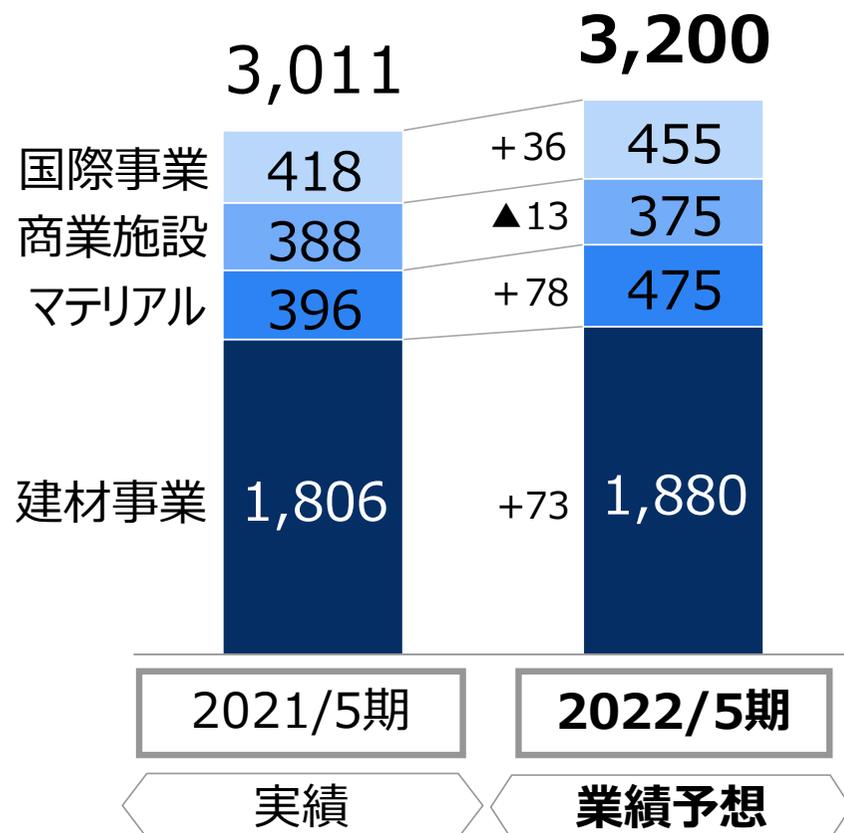
|                     | 2022/5期<br>通期業績予想 | 2021/5期<br>実績 | 増減額  |       |
|---------------------|-------------------|---------------|------|-------|
|                     |                   |               | 増減額  | %     |
| 売上高                 | <b>3,200</b>      | 3,011         | +188 | -     |
| 営業利益                | <b>39</b>         | 45            | ▲6   | -     |
| 営業利益率               | <b>1.2%</b>       | 1.5%          |      | ▲0.3p |
| 経常利益                | <b>31</b>         | 52            | ▲21  | -     |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | <b>4</b>          | 16            | ▲12  | -     |

※ 金額は億円未満切り捨て表示

※ 2022年5月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、増減率は記載していません。

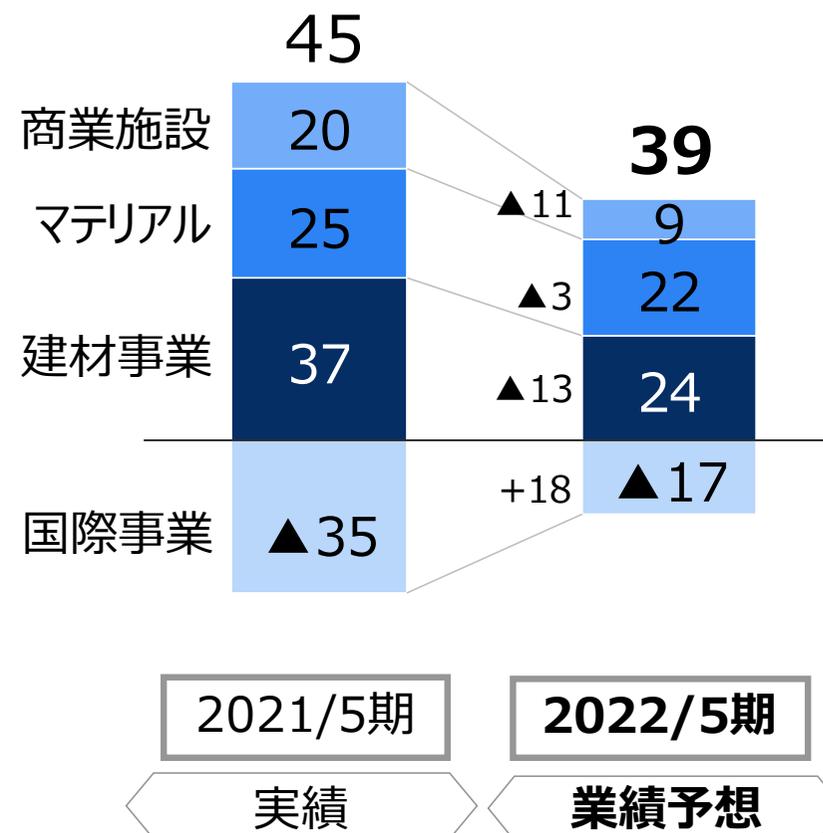
## 売上高

当期業績予想 **3,200 億円**  
 前期実績 **3,011 億円**  
 前期比 **+188 億円**

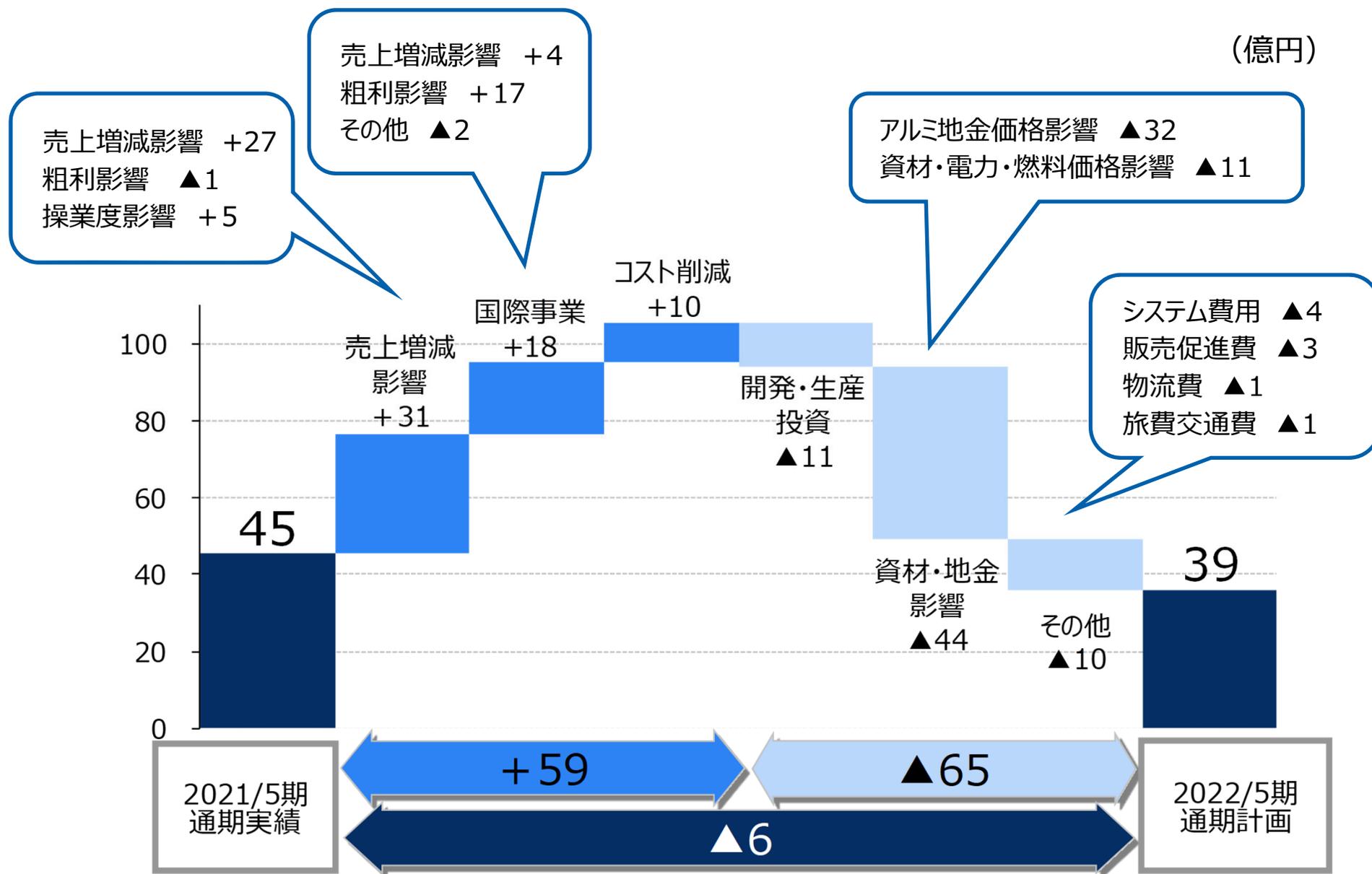


## 営業利益

当期業績予想 **39 億円**  
 前期実績 **45 億円**  
 前期比 **▲6 億円**



※金額は億円未満切り捨て表示



※金額は億円未満切り捨て表示

# サステナビリティと領域拡大への取り組み

## 2021年6月に新たな組織として「サステナビリティ推進部」を設置

環境・社会との調和を図ってきたCSRの取り組みをさらに発展させ、持続可能な社会への貢献を通じた企業価値の向上に取り組めます。

快適・環境・安心・多様性・・・

現状把握と、新たな目標と施策を策定し推進

### サステナブルな社会と豊かな暮らしへの貢献

環境負荷低減

人財の多様化

資源循環

カーボンニュートラルへの挑戦

Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

## 大和ハウス工業様との共同取り組み 植物工場受注（2022/5期中に納入見込み）

### 事例 1

地区 : 九州地区  
規模 : 1日あたり**600kg**の生産能力  
(生産品目 レタス類)  
受注内容: 植物工場設備の建設請負、  
栽培技術・運用技術の供与



### 事例 2

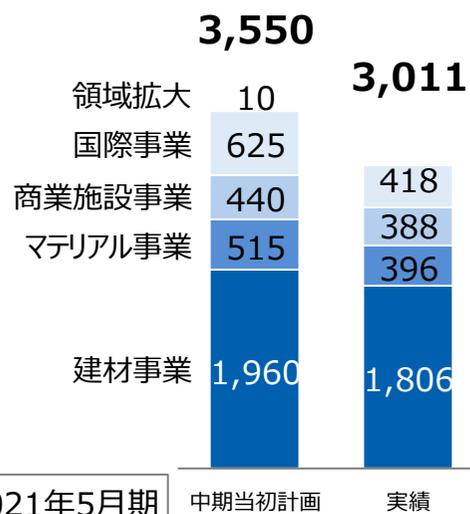
地区 : 関東地区  
規模 : 1日あたり**2,200kg**の生産能力  
(生産品目 レタス類)  
受注内容: 植物工場設備の建設請負、  
栽培技術・運用技術の供与



# VISION2030および中期経営計画

# 1. 前中期経営計画 総括

## ◆売上高



売上高

未達

- ・ コロナ禍が影響し事業縮小
- ・ 成長事業と位置付けた事業の拡大が停滞

建材事業

未達

- ・ コロナ禍により新設住宅着工戸数が減少

マテリアル事業

未達

- ・ 米中貿易摩擦やコロナ禍での市場競争激化が大きく影響
- ・ 地金価格連動売上減少

商業施設事業

未達

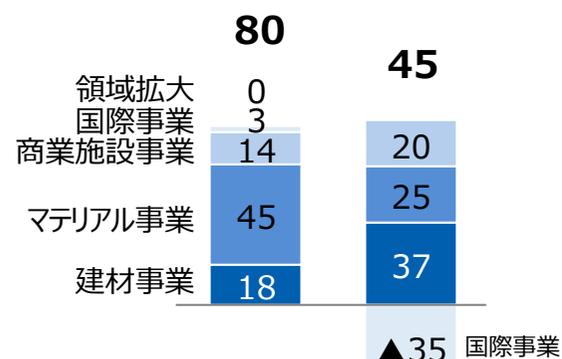
- ・ 小売業における新規出店需要の減少

国際事業

未達

- ・ 欧州景況悪化、コロナ禍に伴う主要分野の需要減による販売物量減少

## ◆営業利益



営業利益

未達

- ・ 国内主体の事業は計画通りの利益確保。一方、国際事業は赤字幅が拡大。全体では最終年度は計画の5割程度に留まる
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、最終年度に黒字化

建材事業

達成

- ・ 地金価格低下と収益改善が利益寄与

マテリアル事業

未達

- ・ 米中貿易摩擦やコロナ禍による売上減影響

商業施設事業

達成

- ・ 省人化導入案件獲得や収益改善が奏功

国際事業

未達

- ・ 欧州景況悪化、コロナ禍による販売物量減少影響

※単位：億円、金額は億円未満切り捨て表示

### VISION 2030

(2031年5月期)

**サステナブルで豊かな暮らしに貢献**  
～環境に配慮した、安心して快適な社会の実現へ～

### 多角化した経営

～バランスの取れた事業ポートフォリオへ～

#### VISION2030への第1フェーズ

### 中期経営計画 基本方針

(2022年5月期  
～2024年5月期)

**収益面での健全経営を確立し、  
安定的に成長する企業グループへ**

サステナブルで豊かな暮らしに貢献～環境に配慮した、安心して快適な社会の実現へ～

### 環境にやさしく

- CO2排出の削減
- アルミ等の資源循環

### 安心な社会へ

- 社会インフラの維持・更新・強靭化
- デジタル化への対応

### 暮らしを快適に

- 更なる使いやすさ・空間の心地よさの追求
- 多様な生活・働き方への対応

### 事業の方向性

建材事業

中核

魅力ある商品開発と領域拡大による成長、収益力の向上

マテリアル事業

成長回帰

安定収益確保と成長事業拡大による持続的成長

商業施設事業

商空間事業強化による領域拡大

国際事業

構造改革

収益貢献事業への変革

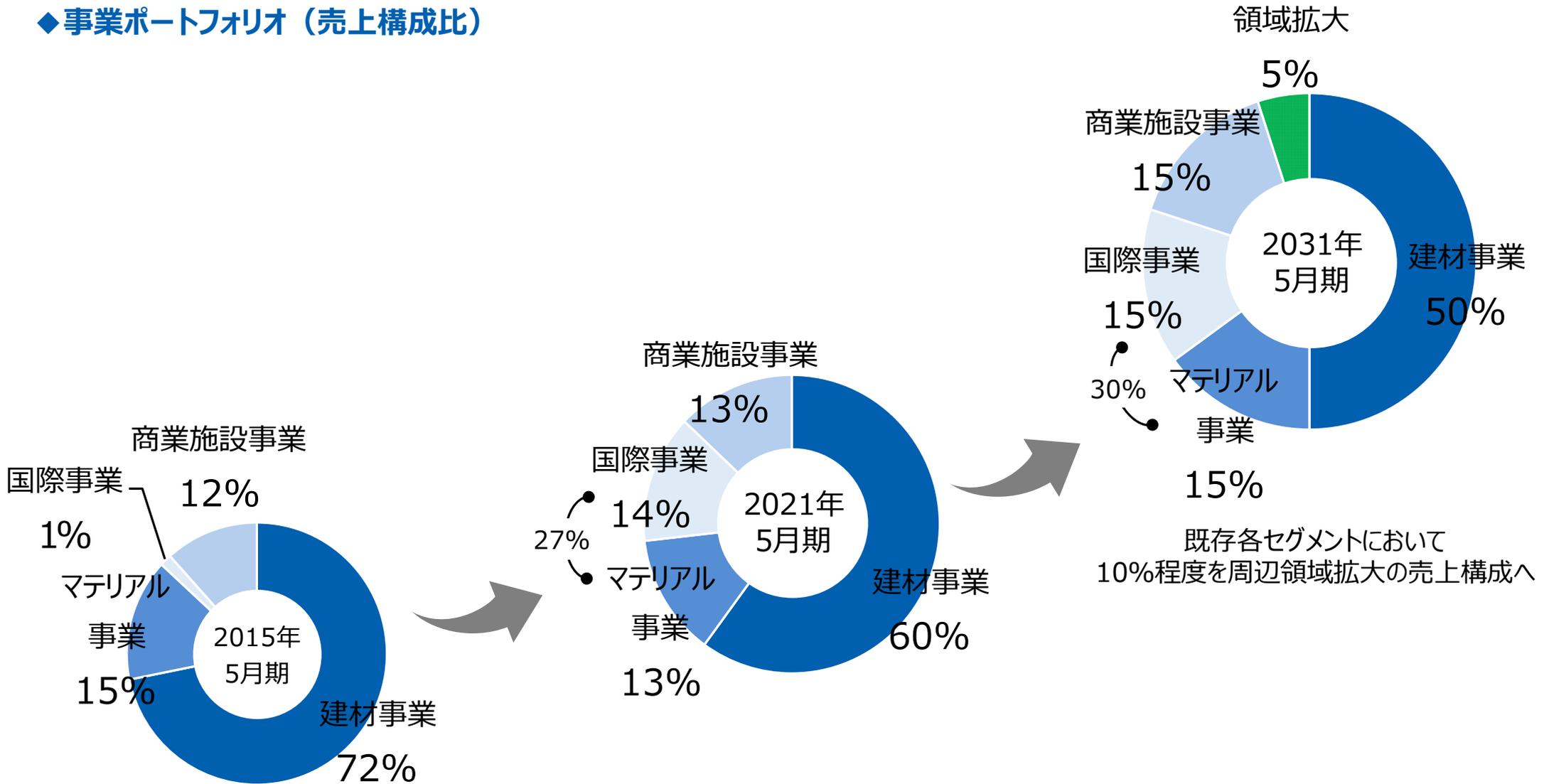
領域拡大

探索開拓

社会課題に対する次の領域開拓

## 多角化した経営～バランスの取れた事業ポートフォリオへ～

### ◆事業ポートフォリオ（売上構成比）



#### ◆ 中期経営計画 基本方針（2022年5月期～2024年5月期）

**収益面での健全経営を確立し、  
安定的に成長する企業グループへ**

1. 国際事業の改革完遂
2. 「強みへのフォーカス」と「効率化の追求」により、  
変化する国内市場へ対応
3. 長期成長への仕込み  
「サステナビリティ取り組み強化」  
「新たな強みの創出」  
「領域拡大」

2024年5月期 目標

|      |                 |
|------|-----------------|
| 売上高  | <b>3,300</b> 億円 |
| 営業利益 | <b>90</b> 億円    |

収益面の健全化



## 収益の安定化

**国際** STEP-G事業構造改革推進



## 強みへのフォーカス

- 建材** 収益力の高い事業分野への資源シフト
- マテリアル** 建材を中心とした既存領域での物量確保
- 商業施設** 顧客対応力による受注拡大

安定成長基盤の確立



- ## 効率化の追求
- 業務改革の推進
  - 新たな働き方の構築

## サステナビリティ取り組み強化

- 2021年6月、サステナビリティ推進部・サステナビリティ政策委員会の設置

## 新たな強みの創出

- 建材** 改装・リフォーム強化
- 商業施設** 直販を活かした新規商材の具現化
- マテリアル** 輸送事業の拡大  
置換需要・用途開拓※による市場拡大  
※環境・リサイクルニーズ

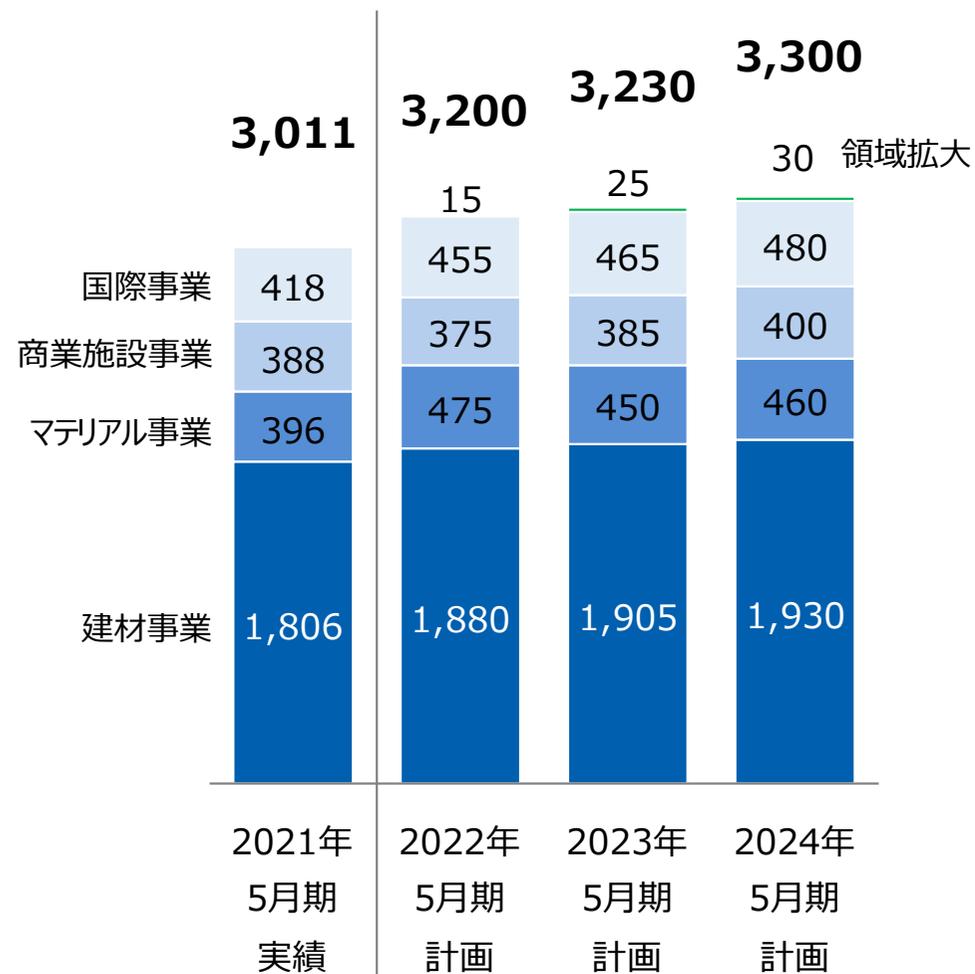
## 領域拡大

- 植物工場事業の売上拡大
- 新規事業の探索と事業化検証

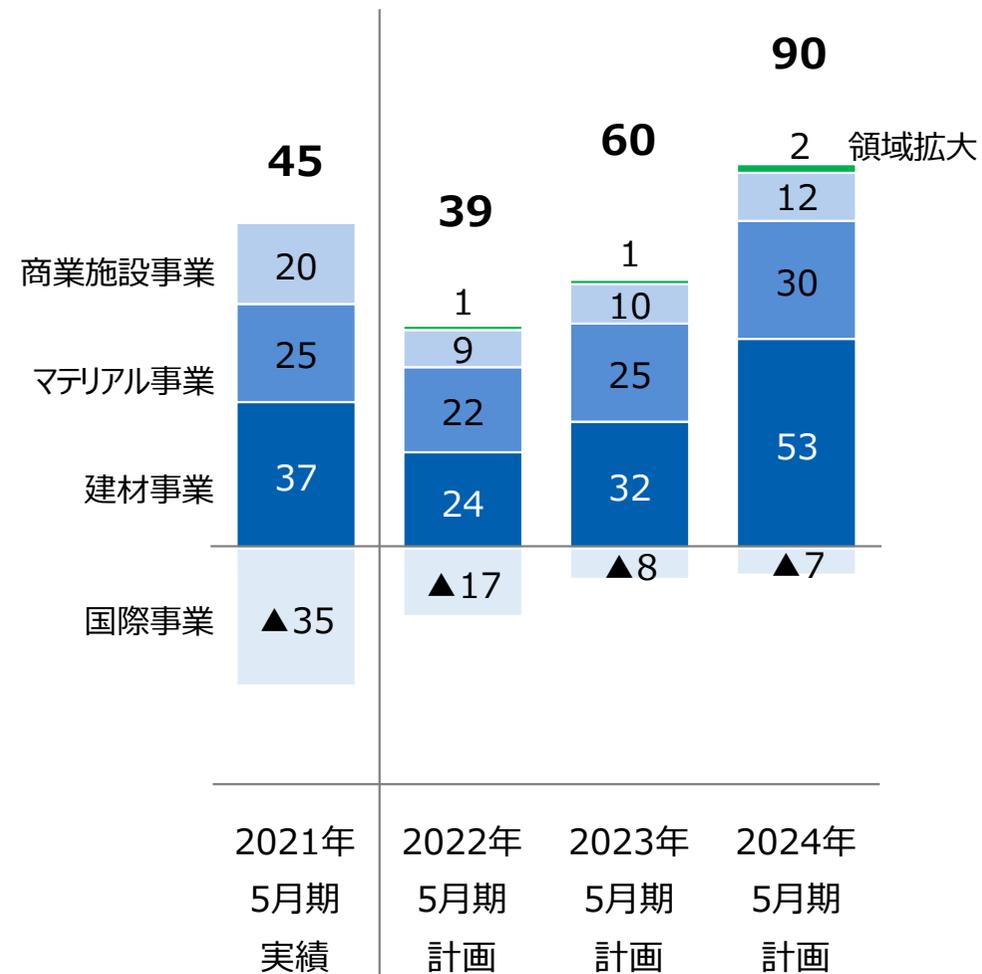
# 3. 中期経営計画 (3/3)

※単位：億円、金額は億円未満切り捨て表示

## ◆売上高



## ◆営業利益



# 参考資料

|                       |                          |                      |
|-----------------------|--------------------------|----------------------|
| 3<br>すべての人に<br>健康と福祉を | 9<br>産業と技術革新の<br>基盤をつくろう | 12<br>つくる責任<br>つかう責任 |
|                       |                          |                      |

## 3密対策・換気

### ✓ アウトドアリビング

6～5月 累計売上  
前年比**130%**

6～5月 累計売上  
前年比**125%**



#### 「ラクシェード」

エコと省エネを実現するロールスクリーン。

#### 「ソラノマ」

お手軽アウトドアリビング（濡れ縁）。家族のライフスタイルに応じたくつろぎの空間をお手軽に。

### ✓ 出入口用網戸

6～5月 累計売上  
前年比**129%**



#### 「アコーディオン網戸」 「てまノン網戸」

既存の玄関ドアや引戸に取り付けて風を採り入れる。「てまノン網戸」は取りはずしが簡単、丸洗いできるのでいつもキレイ。

### ✓ 採風雨戸パネル

6～5月 累計売上  
前年比**116%**



#### 「エアフリー」

従来の雨戸パネルとは異なり、雨戸パネルを閉めたままで部屋の明るさや換気を確保。

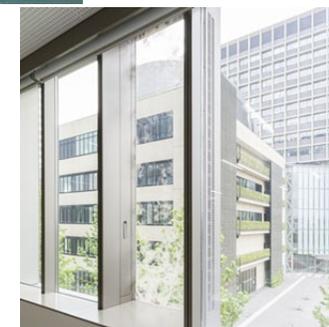
### ✓ バランス式逆流防止窓 ✓ 自然換気システム

6～5月 累計受注  
前年比**153%**



#### 「スウインドウ」

施設や集合住宅向けの自然換気窓。風力で自動開閉する。



#### 「ARM-S@NAV」

風力・重力を利用して建物に風を採り入れる。

|                              |                                 |                             |
|------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| <b>3</b><br>すべての人に<br>健康と福祉を | <b>9</b><br>産業と技術革新の<br>基盤をつくらう | <b>12</b><br>つくる責任<br>つかう責任 |
|                              |                                 |                             |

## イエナカ生活

### ✓ ガーデンルーム

6～5月累計売上  
前年比**136%**



#### 「ハピーナリラ」

日中からナイトシーンまで  
快適なリラックス空間を。

### ✓ インテリア建材

6～5月累計売上  
前年比**111%**



#### 「AMiS」

在宅でのリモート空間を確保  
する可動パーテーション。

## 飛沫防止・非接触対応

### ✓ 宅配ボックス

6～5月 累計売上  
前年比**108%**



#### 「フレムス/ フレムスLight」

不在時でも在宅中でも  
配達員と接触せずに  
宅配便を受け取り可能。

### ✓ 飛沫ガードフェンス



レジ接客時の従業員とお客様の  
感染リスク低減の一環として  
食品スーパーなどを中心に導入。

### ✓ アウトドアリビング

6～5月累計売上  
前年比**102%**



#### 「人工木デッキ ひとと木キュアーズ」

リアルにこだわった本物志向の木調  
デッキ。

# 事業環境

|                                    | 対象期間  | 2018年                | 2019年                 | 2020年                         |
|------------------------------------|-------|----------------------|-----------------------|-------------------------------|
| 【建材事業（住宅）指標】<br>新設住宅着工戸数           | 4月-3月 | 95.3万戸<br>(0.7%増)    | 88.4万戸<br>(7.3%減)     | <b>81.2万戸<br/>(8.2%減)</b>     |
| 新設住宅着工戸数 [持家]                      | 4月-3月 | 28.8万戸<br>(2.0%増)    | 28.3万戸<br>(1.5%減)     | <b>26.3万戸<br/>(7.1%減)</b>     |
| 新設住宅着工戸数 [貸家]                      | 4月-3月 | 39.0万戸<br>(4.9%減)    | 33.5万戸<br>(14.2%減)    | <b>30.3万戸<br/>(9.5%減)</b>     |
| 【建材事業（ビル）指標】<br>非木造建築物着工床面積        | 4月-3月 | 75.1百万㎡<br>(2.8%減)   | 70.1百万㎡<br>(6.7%減)    | <b>64.5百万㎡<br/>(8.0%減)</b>    |
| 【マテリアル事業指標】<br>アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く] | 6月-5月 | 35.8万 t<br>(2.4%減)   | 33.8万 t<br>(5.6%減)    | <b>32.1万 t<br/>(5.0%減)</b>    |
| 【商業施設事業指標】<br>建築着工棟数[店舗(民間建築主)]    | 4月-3月 | 7,248棟<br>(7.7%減)    | 6,158棟<br>(15.0%減)    | <b>5,010棟<br/>(18.6%減)</b>    |
| 【国際事業指標】<br>ドイツ自動車生産台数             | 4月-3月 | 495.9万台<br>(10.8%減)  | 441.7万台<br>(10.9%減)   | <b>343.4万台<br/>(22.3%減)</b>   |
| タイ自動車生産台数                          | 4月-3月 | 218.9万台<br>(7.1%増)   | 190.6万台<br>(12.9%減)   | <b>144.0万台<br/>(24.4%減)</b>   |
| 【アルミ地金価格平均値】<br>[日本経済新聞より]         | 6月-5月 | 275.3円/kg<br>(4.5%減) | 236.3円/kg<br>(14.2%減) | <b>261.1円/kg<br/>(10.5%増)</b> |

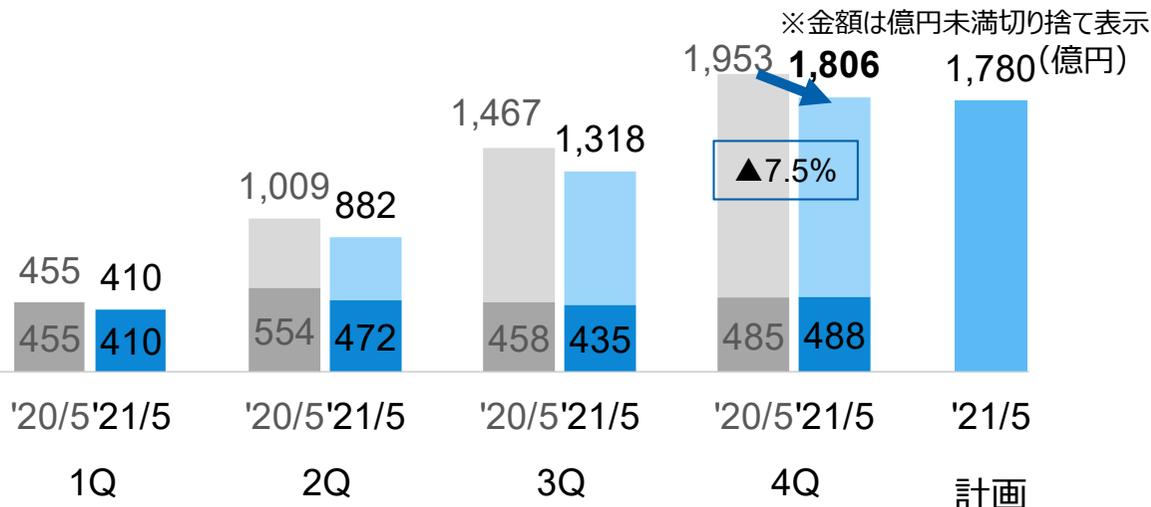
( ) は前期比

## 売上高

# 1,806 億円

前期比 ▲146 億円  
(▲7.5%)

- ・コロナ禍におけるイエナカ需要対応商品販売推進も、新設住宅着工戸数が前年度を下回る状況が続いたことなど

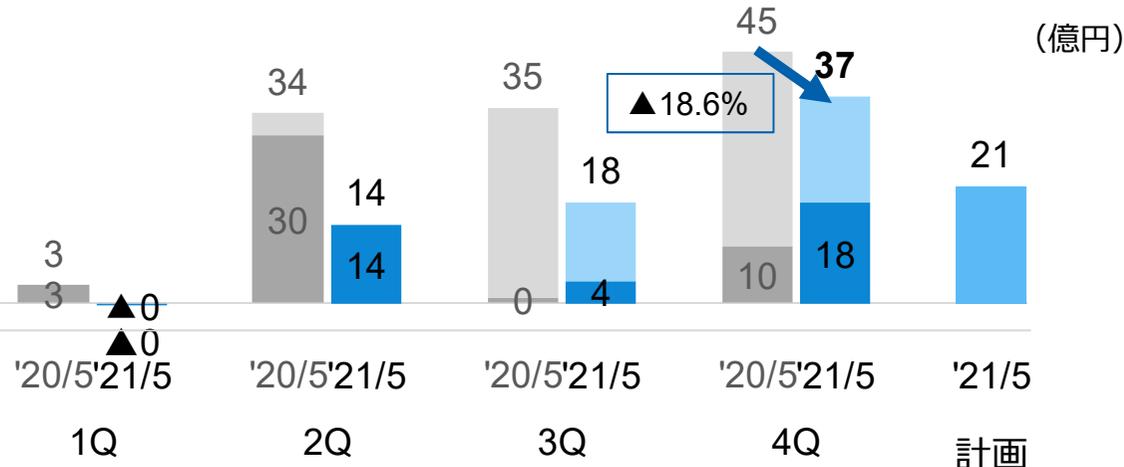


## セグメント利益

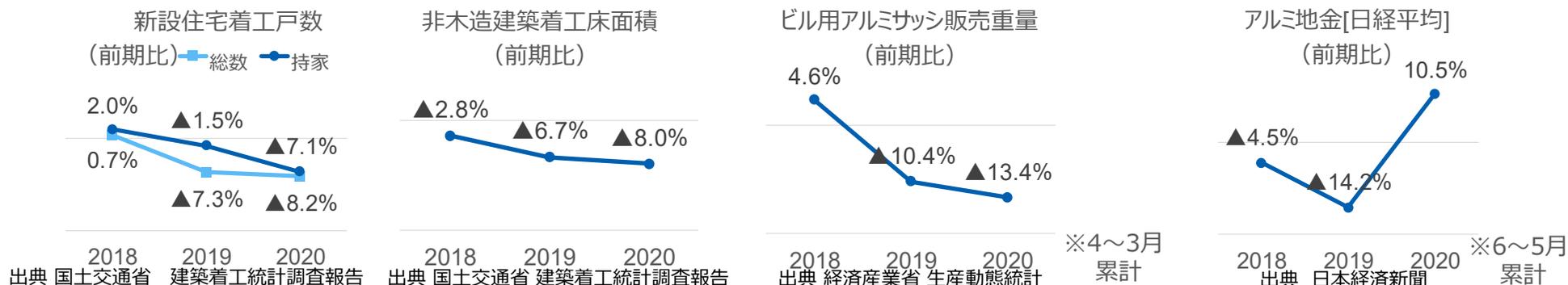
# 37 億円

前期比 ▲8 億円  
(▲18.6%)

- ・販売管理費抑制、粗利改善施策の推進も、売上の減少など



## 事業環境



売上高

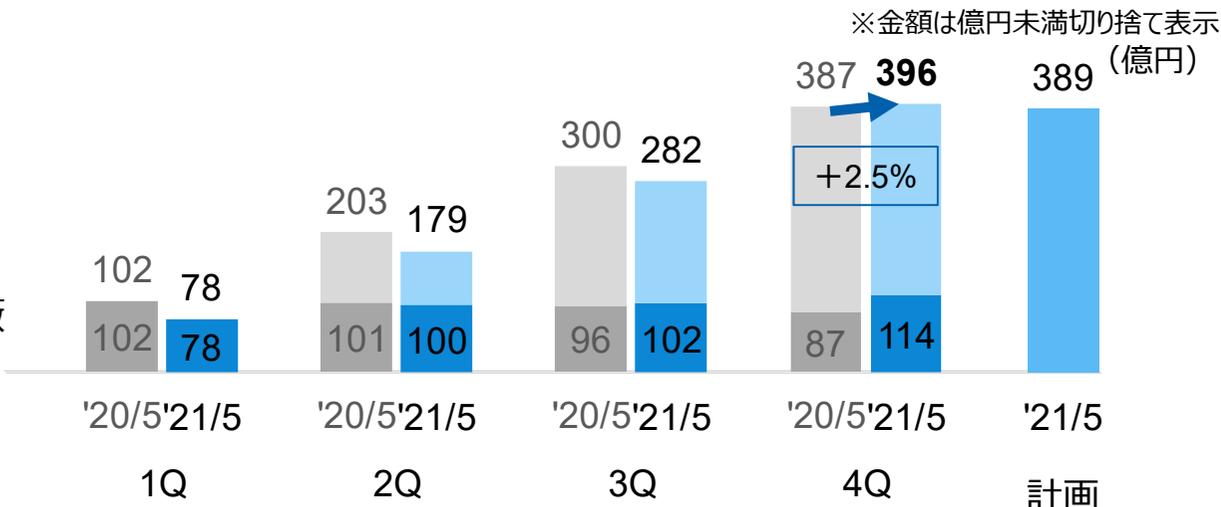
## 396 億円

前期比

### +9 億円

### (+2.5%)

・アルミ押出型材市場の需要減少に伴い厳しい競争環境にあるも、一般機械や輸送機器関連の需要回復、第3Q後半以降アルミ地金市況に連動した売上増加など



セグメント利益

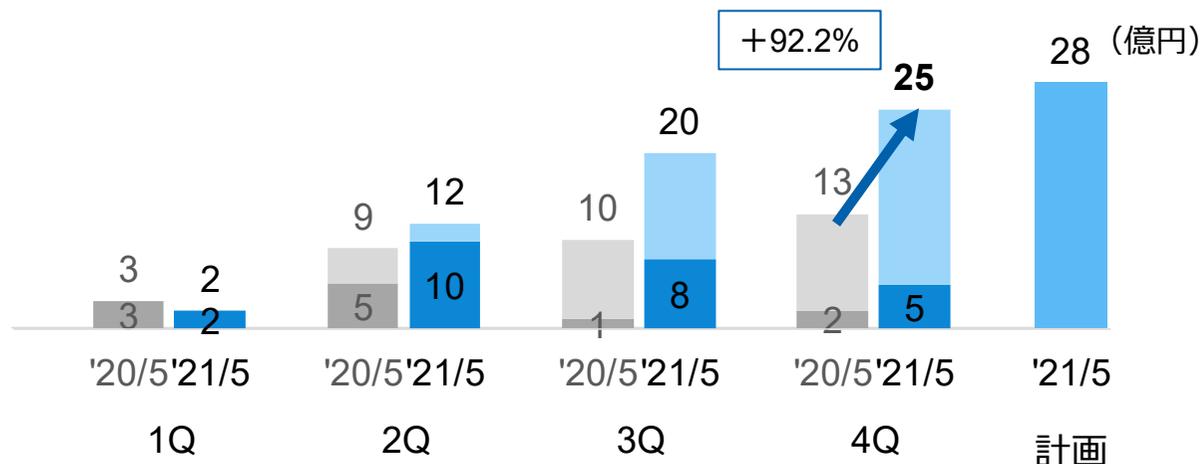
## 25 億円

前期比

### +12 億円

### (+92.2%)

・加工品の増加、販売管理費抑制など



事業環境

国内アルミ型材押出重量 (前年同期比)

<一般機械>



<自動車>



出典 日本アルミニウム協会統計

売上高

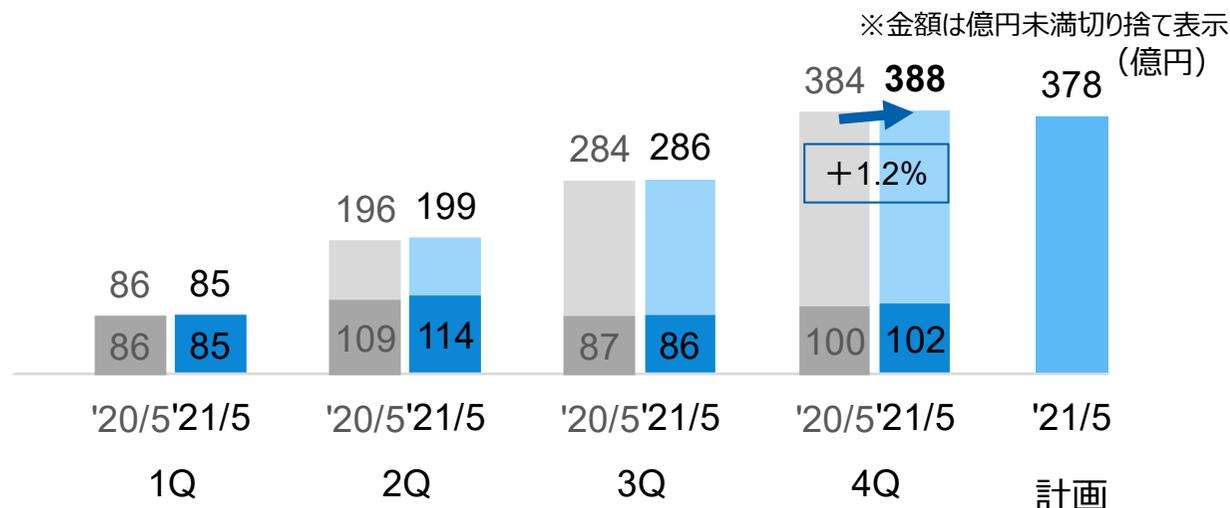
## 388 億円

前期比

### +4 億円

### (+1.2%)

- ・小売業の新規出店需要減少も、省人化・省力化を含む既存店改装需要の取り込みなど



セグメント利益

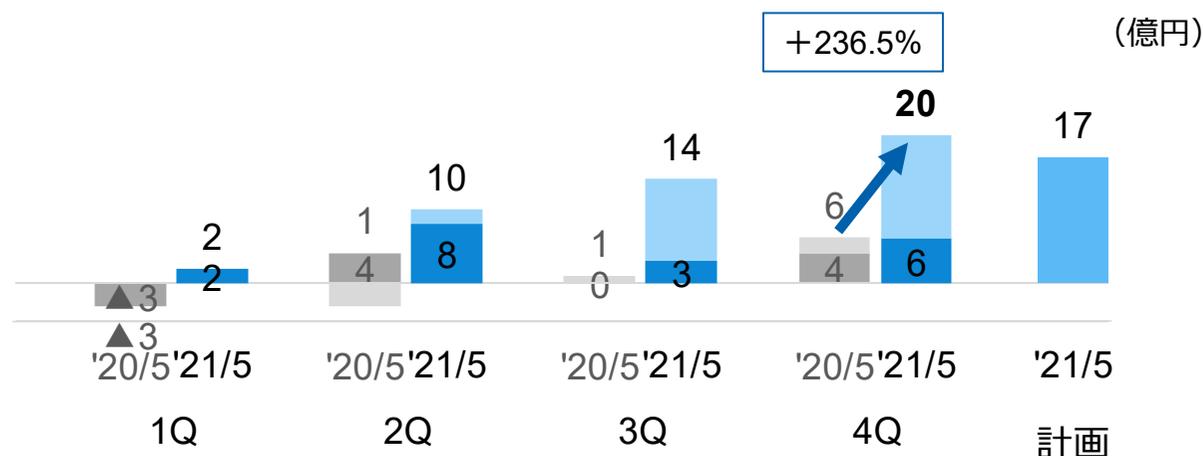
## 20 億円

前期比

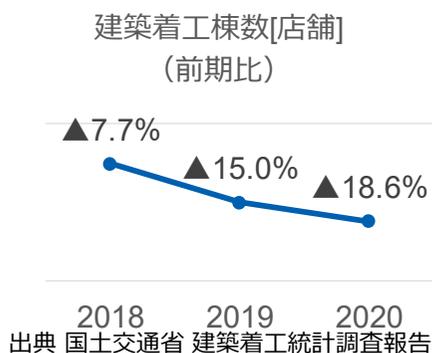
### +14 億円

### (+236.5%)

- ・業務効率化による販売管理費抑制
- ・生産コスト改善など



事業環境



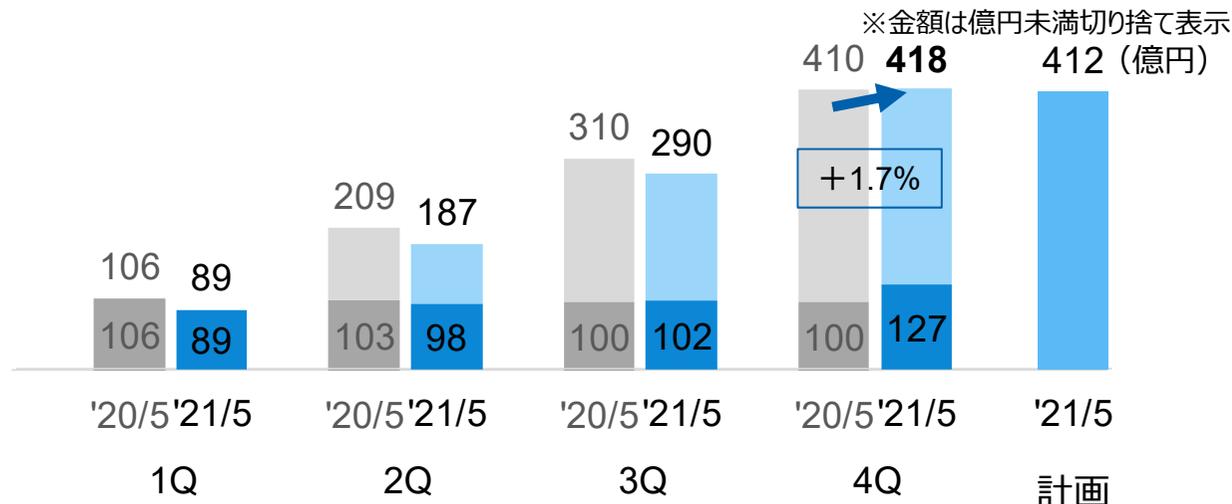
※4~3月累計

## 売上高

# 418 億円

前期比 **+7 億円**  
(+1.7%)

- ・主要分野の需要減少があったが、第3Q以降自動車分野を中心に市場が大幅に回復したことなど

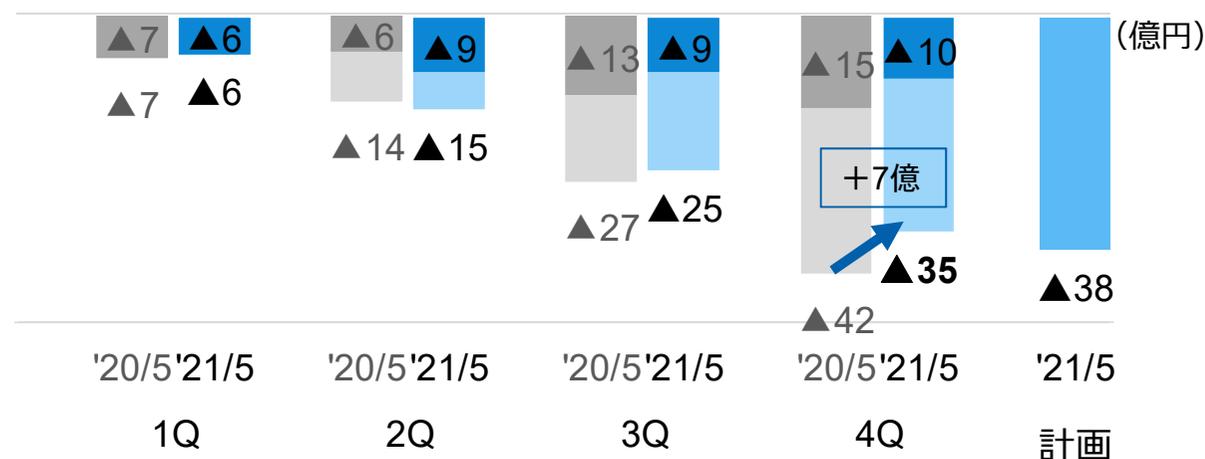


## セグメント利益

# ▲35 億円

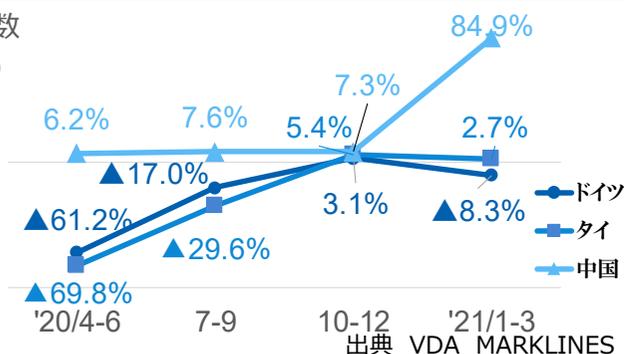
前期比 **+7 億円**  
( - %)

- ・欧州での費用抑制
- ・タイの物量増に伴う収益改善

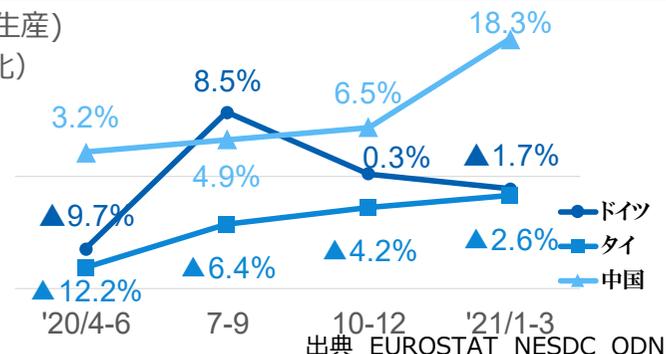


## 事業環境

自動車生産台数  
(前年同期比)



GDP (国内総生産)  
(前年同期比)



## 貸借対照表

2020/5期

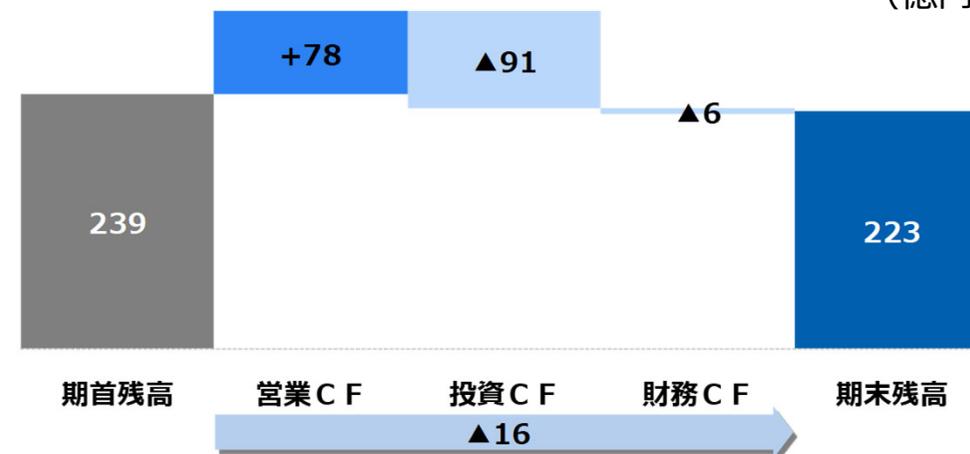
2021/5期

(億円)

|               |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 流動資産<br>1,239 | 流動負債<br>1,102 | 流動資産<br>1,268 | 流動負債<br>1,072 |
| 固定資産<br>1,220 | 固定負債<br>573   | 固定資産<br>1,260 | 固定負債<br>615   |
|               | 純資産<br>783    |               | 純資産<br>840    |

## キャッシュ・フロー

(億円)

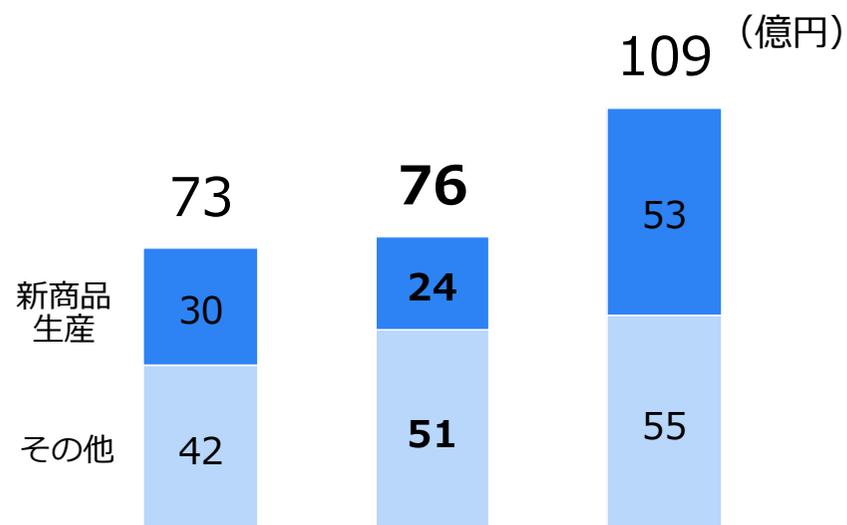


|         | 2020/5期<br>期末 | 2021/5期<br>期末 | 前期末比  |
|---------|---------------|---------------|-------|
| 総資産     | 2,459         | 2,529         | 69    |
| 自己資本    | 749           | 813           | 63    |
| 自己資本比率  | 30.5%         | 32.1%         | 1.6p  |
| 有利子負債   | 666           | 690           | 23    |
| 有利子負債比率 | 88.9%         | 84.9%         | ▲4.0p |

| 営業CF               | 78  | 投資CF               | ▲91 | 財務CF               | ▲6   |
|--------------------|-----|--------------------|-----|--------------------|------|
| 税金等調整前<br>当期純利益    | 46  | 有形固定資産の<br>取得による支出 | ▲70 | 短期借入金純増減<br>(▲は減少) | 74   |
| 減価償却費              | 80  | その他                | ▲20 | 長期借入れによる<br>収入     | 232  |
| 売上債権の増減<br>(▲は増加)  | ▲13 |                    |     | 長期借入金の<br>返済による支出  | ▲182 |
| たな卸資産の増減<br>(▲は増加) | 5   |                    |     | 社債の償還による<br>支出     | ▲105 |
| 仕入債務の増減<br>(▲は減少)  | 3   |                    |     | 配当金の支払額            | ▲1   |
| 法人税等の支払額           | ▲19 |                    |     | その他                | ▲23  |
| その他                | ▲25 |                    |     |                    |      |

※ 金額は億円未満切捨て表示、率は四捨五入表示  
 ※ 自己資本：純資産 - 非支配株主持分  
 自己資本比率：自己資本 / 総資産  
 有利子負債：短期借入金 + 長期借入金 + 社債  
 有利子負債比率：有利子負債額 / 自己資本

※ 金額は億円未満切り捨て表示



| 《内訳》                   |         | 2020/5期<br>実績 | 2021/5期<br>実績 | 2022/5期<br>計画 |
|------------------------|---------|---------------|---------------|---------------|
| ・新<br>生<br>商<br>産<br>品 | 新商品・合理化 | 14            | <b>11</b>     | 24            |
|                        | 修繕など    | 15            | <b>12</b>     | 29            |
| そ<br>の<br>他            | ソフトウェア  | 10            | <b>8</b>      | 8             |
|                        | 海外子会社   | 28            | <b>36</b>     | 40            |
|                        | その他     | 3             | <b>7</b>      | 6             |
| 合計                     |         | 73            | <b>76</b>     | 109           |
| 減価償却費                  |         | 80            | <b>80</b>     | 84            |

※金額は億円未満切り捨て表示

## 【 連結および持分法の適用範囲 】 (社)

|         | 2020/5期<br>期末 | 2021/5期<br>期末 | 前期末比 |
|---------|---------------|---------------|------|
| 連結子会社   | 49            | <b>47</b>     | ▲ 2  |
| 持分法適用会社 | 7             | <b>7</b>      | -    |
| 合計      | 56            | <b>54</b>     | ▲ 2  |

## 【 人員の状況（正社員） 】 (名)

|       | 2020/5期<br>期末 | 2021/5期<br>期末 | 前期末比  |
|-------|---------------|---------------|-------|
| 三協立山  | 5,308         | <b>5,138</b>  | ▲ 170 |
| 連結子会社 | 5,573         | <b>5,439</b>  | ▲ 134 |
| 合計    | 10,881        | <b>10,577</b> | ▲ 304 |

## 【 計画前提・実績 】

|                     |     | 期中<br>平均値 | 2020/5期<br>実績 | 2021/5期<br>前提（通期） | 2021/5期<br>実績    | 2022/5期<br>計画前提 |
|---------------------|-----|-----------|---------------|-------------------|------------------|-----------------|
| アルミ地金価格<br>(日本経済新聞) |     | 6~5月      | 236.3円/kg     | 236.0円/kg         | <b>261.1円/kg</b> | 325.0円/kg       |
| 為替                  | ドル  | 4~3月      | 108.7円        | 110.0円            | <b>106.1円</b>    | 110.0円          |
|                     | ユーロ | 4~3月      | 120.8円        | 123.0円            | <b>123.8円</b>    | 127.0円          |
|                     | バーツ | 4~3月      | 3.5円          | 3.5円              | <b>3.4円</b>      | 3.5円            |
|                     | 元   | 4~3月      | 15.6円         | 16.0円             | <b>15.7円</b>     | 16.3円           |



「SDGs：持続可能な開発目標」は全ての人々が豊かで満たされた生活を享受できる世界像を掲げており、当社の経営理念や、CSR活動が目指すものと重なる点が多くあります。私たちの日々の事業活動を通じて、今後もSDGsの達成に貢献します。

## ～ 三協立山 経営理念 ～

お客様・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

## CSR活動

| ESG               | SDGs |
|-------------------|------|
| <b>E</b><br>環境    |      |
| <b>S</b><br>社会    |      |
| <b>G</b><br>ガバナンス |      |

#### 【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社及び連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、為替相場、アルミ地金等の価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。